

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	スポーツ振興協働化事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650102	決算付属資料	250	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	昭和56年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	福知山市補助金交付規則、一般財団法人福知山市体育協会運営補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	一般財団法人福知山市体育協会の円滑な運営を支援し、福知山市との協働による市民スポーツの活性化や生涯スポーツを普及し、本市のスポーツ振興を促進することを目的とする。												
	対象者	(一財)福知山市体育協会・全市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1								
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、生涯スポーツの普及発展に寄与することを目的に設立された(一財)福知山市体育協会への運営補助金の交付												
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費						
	負担金補助及び交付金	体育協会運営補助金						8,835						
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額							
	①当初	9,300	8,835	8,835	8,835	8,835	8,835						
	②補正予算			0	0								
	③流充用額	0	0	0	0								
	④繰越額計	0	0	0	0	0	0						
	前年度繰越		0	0	0	0	0						
	次年度繰越		0	0	0	0	0						
	財源内訳(①③④内訳)												
	一般財源	9,300	8,835	8,835	8,835	8,835	8,835						
	国支出金	0	0										
	府支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他特財	0	0										
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額		決算付属資料		頁				
		特財名称	種類		実績金額		決算付属資料		頁				
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.08/0	0.08 / 0	0.06 / 0	0.06 / 0								
⑤概算人件費	640	640	480	480									
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)	9,940	9,475	9,315	9,315									
⑦執行額	9,300	8,835	8,835										
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%									

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		体協主催事業参加者数	人	1855/2000	1644/2000	1808/2000	/ 2000	2000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		体協主催事業開催数	回	8/8	7/8	7/8	/ 8	8
		単位あたりコスト		1162.5	1262.1	1262.1		
		単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	体育協会加盟団体を統括し、市民スポーツの普及・高揚のため、体育協会の果たす役割は大きく、事務局の安定化は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	体育協会加盟団体により、各競技大会やスポーツ教室を開催しており、専門分野によるスポーツ振興が進められている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	体育協会が加盟団体を締結し、市民のスポーツ機会を創出するなど、本市のスポーツ行政の中心的役割を担っており、その活動は有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	本市と共催による福知山マラソンをはじめとした市民参加型のスポーツイベントの実施により、体育協会の果たす役割は大きく、一定の成果を果たせた。 また、本市、スポーツ団体を統括して本市のスポーツ振興に果たす役割は大きい。		
今後の課題及び方向性	本市の体育関係団体の統括や市民スポーツの普及に加え、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、市民のスポーツへの関心が高まるなか、「する」「みる」「ささえる」スポーツを推進するため、体育協会が担う役割は重要であり、今後は、更なる市との協働により取組みを進めていく必要があるが、継続的に発生する補助金は課題である。 民間資本の活用なども検討して、財源の確保に努めるとともに、運営補助金から事業補助金の転換等、体育協会事業のあり方を見直していくことも必要である。			

		所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】		

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	本市のスポーツを統括する組織としての機能を最大限に発揮するため、協会加盟団体以外も対象とした事業展開について協議を進めてきたところである。そのような協議の中で、補助事業等のあり方についても引き続き検討を行う。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対R1) <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 要求方針は妥当。効果的な事業実施に向け、見直しを進められた。

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	スポーツ推進委員会事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650103	決算付属資料	250	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	昭和37年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市スポーツ推進計画												
	根拠法令等	スポーツ基本法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	スポーツ基本法に基づき委嘱を受けたスポーツ推進委員が、本市のスポーツ振興のために市民のスポーツへの感心を高め、幅広いスポーツ活動を推進することを目的とする。												
	対象者	全市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	スポーツ推進委員が主体となって市民参加型の事業を主管するほか、地域への指導者派遣など、市民のスポーツ活動への支援や健康増進のための各種事業を実施している。 ■市民歩け歩け大会(2回/年)、スポーツレクリエーション大会 ■派遣指導(随時)(31回のべ967人参加)、ノルディックウォーク指導(随時)												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費	
		報酬	スポーツ推進委員報酬										2,263	
旅費		研究協議会他										125		
需用費		色上質紙、研修会資料代他										135		
使用料及び賃借料		会場使用料										7		
負担金補助及び交付金		京都府スポーツ推進委員協議会分担金										83		
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	①当初	3,905	3,546	3,472	3,091	3,091	
	②補正予算	0	45	0			
	③流充用額			△ 844			
	④繰越額計	0	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0			
	次年度繰越		0	0			
	財源内訳(①③④内訳)						
	一般財源	3,905	3,591	2,628	3,091	3,091	
	国支出金	0	0				
	府支出金	0	0				
	地方債	0	0				
	その他特財	0	0				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.21/0	0.19 / 0	0.17 / 0	0.17 / 0		
⑤概算人件費		1,680	1,520	1,360	1,360		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		5,585	5,111	3,988	4,451		
⑦執行額		2,848	2,335	2,614			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		72.9%	65.0%	99.5%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		派遣講習受講者数	人	929/1200	1122/1200	590/1200	/ 1200	1500
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		講師派遣回数	事業	47/50	29/50	44/50	/ 50	50
			単位あたりコスト	60.6	80.5	59.4		
	広報誌発行回数	回	2/2	2/2	2/2	/ 2	2	
	単位あたりコスト	1424.0	1167.5	1306.5				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民からのスポーツ指導派遣依頼も多く、障がい者の水泳指導など社会的意義の高い講座もあり、優先度は高い。 スポーツ基本法に基づき委嘱を受けた推進委員であり、民間事業者の参入は不可である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	スポーツに関する基礎的・専門的な知識を有した推進員による指導であり、市民スポーツの普及に効果的である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市民のスポーツ活動の入口として、推進委員の活動による派遣事業は、市民も取り組みやすく有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		市民への認知度を高めるため、スポーツ推進委員の取組み状況やニュースポーツを紹介する広報誌等の発行も新たに行い、市民への周知に取り組んできた。 新たなニュースポーツ(ポッチャ)を取り入れるなど、幅広いニーズに対応できるよう取組みを進めてきている。 更には、東京オリパラ2020をきっかけとして、初めてパラスポーツチャレンジデーを実施し、障害者スポーツに対する理解を深める事業も展開してきた。	
今後の課題及び方向性		スポーツ(特にニュースポーツ)は、多種目化し、それらに求められる市民ニーズも多様化している。十分なニーズの把握や研修の実施など、より多くの市民ニーズに対応し、市民のスポーツ活動の活性化に向けた取組みを進めることが必要である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	月1回の定例会時には、ニュースポーツの実技研修を拡充し資質向上に努めるとともに広報誌を充実することで市民のスポーツへの関心を高めるための取組みを進めた。市民のスポーツ活動のきっかけづくり、また活性化に向け、スポーツ推進計画に基づき、本市として引き続き事業展開を図る。
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	スポーツ少年団育成事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650104	決算付属資料	250	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	昭和42年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	福知山市補助金交付規則、福知山市スポーツ少年団育成補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	スポーツ少年団活動を通じた団相互・団員相互の交流が深められ、少年スポーツの振興と青少年の健全育成を図るとともに、誰もが参加しやすい居場所づくりと、スポーツを通じた地域と家庭が支えあう関係づくりに繋げることを目的とする。									
	対象者	スポーツ少年団員	対象者数	678	単位あたりコスト	0.8					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	スポーツ少年団登録団体への育成補助金並び少年団活動の支援、主催共催事業を実施し、少年団活動を活性化させる。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		旅費	事務担当者会議							14	
		負担金補助及び交付金	スポーツ少年団育成補助金							141	
	関連事業										

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当 予算	①当初	182	190	190	172	172				
	②補正予算			0						
	③流充用額	△ 8	0	△ 35						
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
前年度繰越		0	0							
	次年度繰越		0	0						
財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	0	0	0	0	172				
	国支出金	0	0							
	府支出金	0	0							
	地方債	0	0							
	その他特財	174	190	155	172					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと創生事業基金		種類	基金繰入金	実績金額	155	決算付属資料	36	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.41/0	0.07 / 0	0.05 / 0	0.05 / 0					
	⑤概算人件費	3,280	560	400	400					
	⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)	3,454	750	555	572					
	⑦執行額	168	155	155						
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	96.6%	81.6%	100.0%	0.0%					

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	団員数	人	696/860	678/860	622/860	/	860	860
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	助成単位数	団	33/37	32/37	33/37	/	37	37
	単位あたりコスト		5.1	4.8	4.7			
	広報誌の発行	回	1/1	1/1	1/1	/	1	1
単位あたりコスト		168.0	155.0	155.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	日本スポーツ少年団、京都府スポーツ少年団に加盟し、一貫してスポーツを通じた青少年の健全育成などに取り組んでいる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	少年団活動は、登録料を主として運営されており、登録各団においても会費等により自主的に活動されており、効率性は高い。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	少子化により、団員数の維持や増加は困難であるが、少年団活動を通じた少年スポーツの普及や青少年の健全育成に効果的である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	広報誌の発行や、交流大会の開催により加盟団体以外にも参加を呼びかける機会を設けて、拡充を図っている。		
今後の課題及び方向性	スポーツの多様化や少子化により団員数や登録団は減少傾向にあるとともに、指導者養成も重要な課題となっているが、スポーツ少年団の認知度を高める取り組みなどを実施するとともに、単位団相互の交流などのコミュニティ活動を活性化させ、スポーツ少年団活動の質を高めていくことも必要である。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対R1)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	要求方針は妥当。効果的な事業実施に向け、見直しを進められたい。

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	生涯スポーツ推進事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650105	決算付属資料	250・252	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	平成16年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	生涯スポーツ社会の実現に向けて、児童生徒から高齢者まで幅広くスポーツに親しむ機会を提供し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツ振興を図ることを目的とする。												
	対象者	全市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	一般財団法人福知山市体育協会												
	事業概要	体育協会加盟団体等と連携したスポーツ教室の実施や、ニュースポーツ用品の貸し出しなどにより市民のスポーツ実施機会を提供する。 ■スポーツ教室実施種目(キンボール、ソフトボール、ラグビー、バスケットボール、バレーボール、ターゲット・バードゴルフ、少林寺拳法、柔道、剣道、合気道、空手道) ■ニュースポーツ用品貸出(コップインゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ペタンク 他)												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費	
		賃金	臨時職員(2名)賃金										2,588	
		需用費	スポーツ教室 消耗品、用具等の購入										157	
		役務費	傷害保険料、郵送料、電話代										350	
		使用料及び賃借料	スポーツ教室 会場使用料										295	
負担金補助及び交付金、旅費、委託料		スポーツ教室 実施競技団体交付金										538		
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	①当初	4,165	4,088	4,068	4,376	4,076				
	②修正予算									
	③流充用額	45	228							
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越									
	次年度繰越									
	財源内訳(①③④内訳)									
	一般財源	3,507	3,804	3,614	3,876	4,076				
	国支出金	0	0							
	府支出金	0	0							
	地方債	0	0							
	その他特財	703	512	397	500					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと創生事業基金	種類	基金繰入金	実績金額	397	決算付属資料	36	頁
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.32/0	0.19 / 0	0.16 / 0	0.16 / 0					
⑤概算人件費		2,560	1,520	1,280	1,280					
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		6,770	5,836	5,291	5,656					
⑦執行額		4,121	4,201	3,928						
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		97.9%	97.3%	97.9%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		スポーツ教室受講者数	人	593/500	547/500	592/500	/ 500	500
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		スポーツ教室数	教室	16/16	16/16	16/16	/ 16	16
		単位あたりコスト		257.6	262.6	245.6		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	ニュースポーツの多種目化や市民ニーズの多様化に対応して「はじめるスポーツ」の機会を創出している。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	スポーツ用品の貸し出しやスポーツ教室の開催など、市民が気軽に参加するための取組みであり、教室等の運営も体育協会加盟団体が担うことで効率性や専門性も高い。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	幼少期から、高齢者まで様々な年齢層においてスポーツに親しむことのできる機会を提供している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	スポーツ教室の実施やスポーツ用品の貸出等、市民のスポーツ実施機会を提供し、「はじめる」きっかけとしての役割を果たし、生涯スポーツの振興を進めることができている。 また、参加者数からも市民のスポーツへの関心は高まっているものと考え。		
今後の課題及び方向性	アンケート調査などにより、市民ニーズに即した教室等を実施し、スポーツを「する」機会を創出して行くことが必要である。 また、スポーツ推進委員事業やスポーツ少年団育成事業とも連携して、本市の生涯スポーツ振興を図ることが必要である。 今後は、スポーツ推進計画との整合を図った振興施策の取組みを進める。		

庁内及び外部による評価（二次評価）	所見	
	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	

三次評価（外部評価）	所見	
	三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対R1) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 予算縮減であるが、限られた予算内で効果的な事業実施ができるよう、今後見直しを図りたい。

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	四都市体育大会事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650107	決算付属資料	252	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	昭和23年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	広く市民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上をはかり、スポーツを通じて、両丹地方相互の友好並びに親睦を図ることを目的とする。(四都市体育大会趣旨) 平成30年度 第66回春季大会、第67回冬季大会													
	対象者	体育協会員	対象者数	630	単位あたりコスト	6.6									
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()													
	委託先・実施主体等														
	事業概要	京都府北部四市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の体育・スポーツ協会所属の団体・競技者による競技会の実施。 競技会は、年次で実施し、冬季大会(スキー種目)・春季大会(陸上競技等 18競技22種目)の各競技の結果により、四市の総合順位を決定する。													
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)		項目	具体的な内容										H30経費		
		報償費	永年出場者トロフィー										62		
		需用費	選手・役員委嘱状用紙										1		
		使用料及び賃借料	強化練習会場使用料、バス借上げ										366		
		負担金補助及び交付金	大会負担金、選手激励費										418		
関連事業	四都市体育大会事業(当番市)														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	801	1,150	981	879	779
	②補正予算					
	③流充用額	0	△ 15	50		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	801	1,135	1,031	879	779
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.13/0	0.46 / 0	0.39 / 0	0.39 / 0	
⑤概算人件費		1,040	3,680	3,120	3,120	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		1,841	4,815	4,151	3,999	
⑦執行額		647	962	847		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		80.8%	84.8%	82.2%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		参加者数(市)	人	596/600	626/600	687/690	/ 600	600
		総合順位	位	1/4	2/4	1/4	/	1
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実施競技数	競技	19/19	19/19	19/19	/ 19	19
		単位あたりコスト		34.1	50.6	44.6		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	各競技協会における連携や競技力向上など本大会の主旨を達成することができている。四市のスポーツを通じた交流として各市に定着し、歴史・実績を積み重ねており、市民注目度も高い。 各競技協会が自ら競技会を運営しており、市民等も参画している大会である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	競技協会が中心となって大会運営をおこなっており、事業の効率性は高い。 施設の老朽化等に伴う会場確保なども課題であり、会場を分散して開催する等四市の協力によりコストの増加がないよう取り組んでいる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	北部四市におけるスポーツ振興・競技力向上において、十分な実績を果たしている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	四都市体育大会の主旨である市民スポーツの普及と体力の向上、スポーツを通じた友好と親睦を図ることができている。 各市の体育・スポーツ協会が中心となって選手派遣、強化練習等により総合優勝に向けて取り組むことは、各市の競技力向上にも成果があった。		
今後の課題及び方向性	長年の歴史・実績を積み重ねてきた大会であるが、各競技団体ともに競技人口の減少や高齢化なども課題となっている。新たにニュースポーツを得点種目化するなど生涯スポーツの推進に向けた取り組みも進めている。分散会場での開催など、四市で協議し可能な範囲で実施し、大会運営の更なる効率化も図っているところである。		

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対R1) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 予算縮減であるが、限られた予算内で効果的な事業実施ができるよう、今後見直しを図りたい。</p>

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	四都市体育大会事業(当番市)												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650108	決算付属資料	252	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	昭和23年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	広く市民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を図り、スポーツを通じて、両丹地方相互の友好並びに親睦を図ることを目的に開催する四都市体育大会を当番市として円滑に運営することを目的とする。									
	対象者	体育協会員	対象者数	630	単位あたりコスト	6.7					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	京都府北部四市(福知山市、綾部市、宮津市、舞鶴市)が輪番で開催しており、平成30年度は本市が当番市として大会を実施した。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		需用費	ラインテープ、ボール他競技物品							433	
		役務費	除草業務							48	
		備品購入費	空手道用マット							611	
	関連事業	四都市体育大会事業									

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			1,000	0	
	②補正予算					
	③流充用額			92		
	④繰越額計			0	0	0
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源			1,092	0	0
	国支出金					
	府支出金					
	地方債					
	その他特財					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.39 /	/		
⑤概算人件費			3,120			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			4,212			
⑦執行額			1,092			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			100.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		参加者数(四市)	人			2449/2500	/	2500
		実施種目数	種目			19/19	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		会議数(企画委員会、連絡協議会、種目別代表者会議)	回			10/12	/	12
		単位あたりコスト				109.2		
	単位あたりコスト					/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	四市の輪番で大会を開催しているため当該年において必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	競技協会が中心となって大会運営をおこなっており、事業の効率性は高い。しかし、施設の老朽化等に伴う会場確保なども課題であり、広域的な施設利用や開催日の分散化など実施体制について、四市による協議が必要である。当番市として各市の負担金により一括して大会を開催することにより効果的な大会運営を行なっている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	北部四市におけるスポーツ振興・競技力向上において、十分な実績を果たしている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	当番市として円滑な運営が出来ている。		
今後の課題及び方向性	施設の老朽化などにより当番市単独での開催が困難となってきているのは四市共通の課題である。すでに当番市であっても他都市の会場で競技を実施している種目もあり、今後も分散会場に加え分散日程等も検討し、大会の円滑な運営に向けての取り組みが必要であり、大会運営のあり方について、四市で協議を進めているところである。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	<ul style="list-style-type: none"> ○コスト面、選手召集等、開催場所・方法の検討が必要 ○当番市のあり方を開催場所の固定化(三段池等)を含め、当番市事業の統合を検討されたらどうか ○四都市体育大会事業(本体)と一緒にしたら良い

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	福知山マラソン大会支援事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650109	決算付属資料	252	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	平成3年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	福知山市補助金交付規則、福知山マラソン交付金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市の一大イベントであり全国からの多数の参加により、全国有数の歴史・実績・規模を誇る福知山マラソン大会を支援することで、大会を通じた交流人口の増加による地域活性化を図ることを目的とする。												
	対象者	マラソン大会参加者	対象者数	11,200	単位あたりコスト	1.6								
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (運営交付金)												
	委託先・実施主体等	福知山マラソン実行委員会												
	事業概要	福知山マラソン実行委員会に対して交付金を交付する。 福知山マラソン事業概要 フルマラソン10,000人、サブ種目(5km、2km、3kmファンラン)を実施する。三段池公園をスタート・フィニッシュとする日本陸上競技連盟公認												
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費					
	負担金補助及び交付金	福知山マラソン大会開催交付金						12,000						
関連事業														

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000			
	②補正予算								
	③流充用額	0	8,000						
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越									
	次年度繰越								
予算と執行の状況	財源内訳	12,000	8,000	5,600	5,600	12,000			
	一般財源								
	国支出金	0	0						
	府支出金	0	0						
	地方債	0	0						
その他特財	0	12,000	6,400	6,400					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域スポーツ活動推進事業助成	種類	雑入	実績金額	6400	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	1.1/0	0.98 / 0	0.68 /	0.68 / 0					
⑤概算人件費	8,800	7,840	5,440	5,440					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	20,800	27,840	17,440	17,440					
⑦執行額	12,000	20,000	12,000						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%					

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	参加者申込人数	人	11097/11700	10270/11700	10272/11200	/	11200	11200
RUNET大会レポート評価点	点	73.2/100	86.3/100	71.8/100	/	100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	事務局会議開催回数	回	8/12	10/12	14/12	/	12	12
	単位あたりコスト		1500.0	2000.0	857.0			
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	全国有数のフルマラソン大会として、全国に認知されており、他のイベントによる代替はできない。開催に係る許認可や医療・救急体制など安全性の確保など、行政が主体となり調整していくことが必要であると共に、民間団体と共に取り組んでいくことが必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	参加料収入と協賛金を主たる財源として実施している(参加料は全国平均を見ても妥当なレベルである)。常にコストを意識して大会を運営している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	多様な参加者ニーズにも対応するため、他大会の情報収集の積極的に行っている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	京都市北部地域最大のイベントとして、また全国有数のマラソン大会として認知されており、大会運営においては堅実に実績を積み重ねている。平成30年度は、47都道府県全てからのエントリーもあり、着実に実施してきている。		
今後の課題及び方向性	全国的にマラソン大会は増加の傾向にあり、地方大会として都市型・大規模マラソンと競合していくためには、地域の特色を活かした大会運営をしていく必要がある。新たな企業協賛や広告収入の確保等により収益性を向上させるとともに、市民参加型のマラソン大会として、地域と一体となり質の高い大会運営により参加者を確保し、地域活性化を図って行くことが必要である。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対R1) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 予算増減を伴わない見直しの方針であるが、予算拡充となった。コスト意識をもち、最大限の効果を発揮できるよう、見直しを行いつつ事業を進められたい。

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	スポーツ振興事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650111	決算付属資料	252	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	平成18年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	福知山市補助金交付規則、福知山市スポーツ振興事業補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	全国規模の大会等を誘致・開催し、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、市民の「みる」「する」「ささえる」スポーツ大会を創出し、市民のスポーツへの関心と競技力を高め本市の更なるスポーツ振興を進めることを目的とする。											
	対象者	全市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金)											
	委託先・実施主体等	(一財)福知山スポーツ協会											
	事業概要	■スポーツの実施の機会の創出と競技力の向上を図る。 スポーツ協会等との共催事業開催のための負担金(全関西ソフトテニス大会55千円、全関西卓球大会55千円、府民総合体育大会760千円 等) ■全国大会等の誘致開催による市民のスポーツへの関心を高める。 本市で開催する全国規模の大会、西日本や近畿規模の大会の運営支援のための補助金。(全国大会:300千円、近畿大会:200千円)											
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H31経費								
	負担金補助及び交付金	全国大会等開催補助金(4件)、スポーツ協会共催事業負担金(7件)		2,270									
関連事業													

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額							
	配当予算	①当初	2,500	3,170	2,970	3,270	2,715						
		②補正予算	0	0									
		③流充用額			△ 490								
		④繰越額計	0	0	0	0	0						
		前年度繰越											
		次年度繰越											
	財源内訳(①③④内訳)	一般財源	0	1,070	580	1,370	1,215						
		国支出金	0	0									
		府支出金	0	0									
		地方債	0	0									
		その他特財	2,500	2,100	1,900	1,900	1,500						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと創生事業基金		種類	基金繰入金	実績金額	1,255	決算付属資料	36	頁		
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.08/0	0.11 / 0	0.06 /	0.06 / 0							
⑤概算人件費		640	880	480	480								
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		3,140	4,050	2,960	3,750								
⑦執行額		1,600	2,342	2,220									
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		64.0%	73.9%	89.5%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		大会参加選手・役員数	人	2,370/3,000	2,330/3,000	1,842/3,000	/ 3,000	3,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		補助対象大会数	回	7/10	5/10	5/10	/ 10	10
		単位あたりコスト		228.6	468.4	444.0		
		主催事業大会数	回	6/8	6/8	6/8	/ 8	8
単位あたりコスト		266.7	390.3	370.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	大規模大会の誘致により、トップアスリートの競技を「みる」機会が創出できている。民間事業者と共催する事業もあり、実施競技によるスポーツへの関心も高まっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	大会は各競技団体の自主財源(参加料や協賛金)等に加えた補助金により運営している。 また、全国各地から多数が参加することによる経済効果も見込まれる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	全国大会の誘致に対するインセンティブとして有効性は高い。また、スポーツ協会共催事業においては、競技協会が主管することにより組織力の強化にも寄与するものである。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>■全日本ソフトテニス実業団リーグなど、毎年開催されることにより、本市で定着している大会もあり本市の知名度アップにも効果がある。</p> <p>■京都ハンナリーズホームゲームでは、本市で唯一開催されるプロスポーツの試合である。「みる」スポーツの推進ならびに、地元バスケットボール団体との協働により、競技力向上にも寄与している。</p> <p>■全国大会等の開催や共催事業、共に市内の競技団体が主体となり運営しており、各団体の組織力や大会運営のノウハウも強化されることが期待できる。</p>		
	今後の課題及び方向性	<p>ハイレベルな競技を本市で実施することにより、市民のスポーツへの関心を深めることに加え、全国大会等に出場することのできるトップアスリートの育成や指導者の養成も課題である。</p> <p>全国的規模の大会の継続的な開催による市民のスポーツへの関心をより高めるために、「する」「支える」スポーツとして市民が参画できる環境づくりが必要。</p>		

		所見
庁内及び外部による評価 (二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】)		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】)		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	ハイレベルな競技を本市で実施することにより、市民のスポーツへの関心を高め、「する」「みる」「ささえる」スポーツへの振興を図る。加えて全国大会等に出場することのできるトップアスリートの育成や指導者を養成するため、今後も継続した事業実施が必要である。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対R1) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 予算縮減であるが、限られた予算内で効果的な事業実施ができるよう、今後見直しを図りたい。

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	国際大会開催準備事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650113	決算付属資料	252	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	令和3年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	R2インターハイ(ソフトテニス)やワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)の開催成功に向け、準備体制の強化を図り、受入態勢を整える。												
	対象者	全市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	WMGの京都府の基本計画策定に対する市町負担金。 インターハイソフトテニス大会の前々年度実施市(三重県鈴鹿市)への旅費。 そのほかWMG、オリンピック・パラリンピック(オリパラ)等に関する京都府担当部署への旅費。 なお、令和元年度は、インターハイ、WMGの開催控え、三段池公園テニスコートを2面増設する(100,000千円)また、ワールドマスターズゲームズ2021関西福知山市実行委員会を設立し、福知山市実施計画を策定する。												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費					
		旅費	オリパラ、インターハイ、WMG関連						120					
需用費		WMG関連						50						
使用料及び賃借料		WMG関連						6						
負担金補助及び交付金		京都府WMG基本計画策定負担金						172						
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初			374	112,694	231,481
		②補正予算			0		
		③流充用額			2		
		④繰越額計			0	0	0
	繰越	前年度繰越	0	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0	
		一般財源			376	3,847	24,751
	国支出金					90,000	
	府支出金				3,497	15,950	
	地方債				33,700	78,300	
	その他特財				71,650	22,480	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.16 / 0	0.16 / 0		
⑤概算人件費			1,280	1,280			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			1,656	113,974			
⑦執行額			348				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			92.6%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実施計画策定	計画				/ 1	1
	チャレンジデーの参加率	%				/ 50	50	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実行委員会	回				/ 3	2
		単位あたりコスト					/	
単位あたりコスト						/		

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	大会を円滑に運営し、成功するための準備として必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	民間の各種団体も参画する実行委員会を組織することとしており、各方面からの意見聴取により効率的に準備を進める。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	大会を円滑に行なうために事業は有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンや事前合宿の誘致 ・東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿地への誘致にかかる登録済み</p> <p>WMGやインターハイ ・参加者の満足度が高い大会となるよう、円滑な運営に向けた準備を行なった。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>誘致後の大会成功と大会開催による市民の「みる」「する」「支える」スポーツへの参画を促進していくための取り組みを進めて行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前合宿地やホストタウンの候補地として継続的に誘致を進めるが、相手国とのマッチングが課題である。 ・WMGやインターハイ等開催にあたって、市民への更なる周知が必要 ・WMGやインターハイ等の開催に向けた実行委員会の立ち上げ、運営 ・大会開催後においても、市民に大会の理念がレガシー(遺産)として残せることが出来るよう、市全体で取り組んでいく仕組みを構築していく。 			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	<p>○成果目標をチャレンジデー参加率にするなど、「市民のスポーツへの関心興味」を図れるものにすべきでは</p> <p>○準備行為なので成果指標の見直しを。</p>
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	所見

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸しの指摘を踏まえ、「チャレンジデー参加率」を成果指標に設定 ・令和元年度の設計業務の成果を反映し、テニスコートの整備は適切な額を設定 ・インターハイやワールドマスターズゲームズ2021関西の開催を控え、ハード・ソフト両面で受入体制の整備をすすめる
	<p>予算への反映 【財政担当課記入】</p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<p>予算額の反映状況(対R1)</p> <p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p> <p>次年度方針は妥当。効果的な見直しを進められたい。</p>

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	スポーツ賞表彰事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	体育振興費	会計	一般会計	事業コード	650131	決算付属資料	94	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	昭和46年												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	福知山市スポーツ賞基金条例、福知山市スポーツ賞に関する規則												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	競技者の栄誉を称えスポーツ賞を授与することにより、全国大会等での活躍を称えとともに更なる技術の向上を図り、市民のスポーツ意識を高め本市のスポーツ振興を図る。												
	対象者	全市民	対象者数		単位あたりコスト									
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	福知山市スポーツ賞基金条例及び福知山市スポーツ賞に関する規則に基づき、運動競技で優秀な成績を収めた者(日本記録を樹立した者、又は全国競技会で優勝し表彰に値すると認められる者)を表彰する。												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費					
		報酬	選考委員会出席委員報酬(市職員以外)						10					
需用費		表彰楯						60						
需用費		賞状用和紙						16						
役務費		賞状筆耕料						27						
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	327	290	280	214	172					
		②補正予算										
		③流充用額	0	0								
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	財源内訳 (①③④内訳)	前年度繰越										
		次年度繰越										
		一般財源	0	0	193	0	172					
		国支出金	0	0								
		府支出金	0	0								
		地方債	0	0								
		その他特財	327	290	87	214						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スポーツ賞基金		種類	基金繰入金		実績金額	87	決算付属資料	34	頁
		特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	従事職員数 (正職/嘱託)	0.05/0	0.06 / 0	0.05 /	0.05 / 0							
⑤概算人件費	400	480	400	400								
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	727	770	680	614								
⑦執行額	75	126	114									
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	22.9%	43.4%	40.7%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		受賞者数	人	5/5	9/5	6/5	/ 5	5
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		候補者照会先	団体	20/20	20/20	20/20	/ 20	20
		単位あたりコスト		3.8	6.3	5.8		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	偉業を成し遂げた選手に対し、市長自ら表彰する事業であり、その意義は高い
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	事業の性格上、受益者(受賞者)に負担を求めるものではなく、受賞者の荣誉に比してコストが高いとは言えない。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	福知山市内のスポーツ競技者の大会等の結果について、様々な団体に照会を行い、また直接情報収集に努めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		受賞者については全国大会で優勝した者全てに受賞させるのではなく、委員会での選考を経た上で、大会の規模や出場者数なども勘案して決定されている。	
今後の課題及び方向性		スポーツ競技に対する本市の姿勢を示すことにより、競技者及び競技団体の意欲を喚起し、競技力の向上を通じて、市民のスポーツ意識の高揚を目指す。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対R1) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 見直し方針は妥当。コスト意識をもち、最大限の効果を発揮できるよう、見直しを行いつつ事業を進められたい。

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	スポーツ合宿補助事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650134	決算付属資料	252	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	平成24年												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	福知山市補助金交付規則、福知山市スポーツ合宿誘致補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市の文化・スポーツ資源を有効に活用し、文化・スポーツ合宿を通して人の交流促進を図り地域の活性化につなげるため、合宿誘致を行う。7・8月の本市の合宿繁忙期を除く期間(10ヶ月限定)とし、空き施設が多い平日を中心に誘致し施設の有効活用を図る。									
	対象者	合宿による来福者	対象者数	1,500	単位あたりコスト	2.4					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	本市の宿泊施設に宿泊し、本市のスポーツ施設を利用し合宿を行う、市外の高校、大学等のスポーツクラブ、サークル等を対象に、1泊あたり1,500円、上限15万円の宿泊補助を行う。									

主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費
	負担金補助金及び交付金	スポーツ合宿補助金	1,676

関連事業										
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	①当初	2,200	2,450	2,250	0					
	②補正予算									
	③流充用額	0	0							
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越									
	次年度繰越									
	財源内訳(①③④内訳)									
	一般財源	0	0	725	0	0				
	国支出金	1,100	0							
	府支出金	0	0	837						
	地方債	0	0							
	その他特財	1,100	2,450	688						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	みらい戦略一括交付金	種類	府支出金	実績金額	837	決算付属資料	28	頁
		特財名称	スポーツ合宿補助事業基金	種類	基金繰入金	実績金額	688	決算付属資料	34	頁

人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.18/0	0.17 / 0	0.17 /		
⑤概算人件費		1,440	1,360	1,360		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		3,640	3,810	3,610		
⑦執行額		1,884	1,362	1,676		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		85.6%	55.6%	74.5%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		利用者延泊数	泊	942/1100	992/1500	1123/1500	/	1500
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		説明会の実施	回	1/2	1/2	2/2	/	2
		単位あたりコスト		1884.0	1362.0	838.0		
	ホームページでの周知・説明	回	0/0	1/1	1/1	/	1	
	単位あたりコスト		0.0	1362.0	1676.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	宿泊施設の利用や飲食など一定の経済効果が見込める半面、交流人口の拡大という面においては、市外の団体と市内の団体の交流については、一部の合宿を除いて促進されていない。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	観光振興だけでなく、スポーツ振興にも直接的に寄与する仕組みが必要。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	閑散期の宿泊施設の有効活用という点においては、十分な成果を果たしており、支出額に見合った経済効果は見込めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		制度が定着し、一定の利用が見込める半面、申請者の固定化が進み、新規の申請が少ない。	
今後の課題及び方向性		スポーツ合宿誘致が単なる宿泊補助ではなく、本市の競技者の競技力向上や交流人口の増加など、本市のスポーツ振興により寄与するよう、制度の改正を行い、新たに「トップアスリート支援事業」にて実施する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	スポーツ推進計画策定事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650135	決算付属資料	252	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	平成29年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	スポーツに関する社会的なニーズも多様化する中、年齢や性別、障害の有無等を問わず、広く市民がその適正に応じたスポーツ活動に参加し、心身の健全な発達や健康及び体力の増進を図るとともに、スポーツによる地域間交流やスポーツ観光を推進することを目的とする。										
	対象者	全市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	スポーツ推進計画の策定に向け、9回(H30は7回)の意見聴取会を開催し、意見聴取会委員からの意見を伺った。 また、市民アンケートの実施やパブリックコメントを募集することで広く市民からの意見を聞くとともに、関係団体からも意見を伺いスポーツ推進計画を策定した。 平成29年度、平成30年度の2か年により策定する。 意見聴取会、市民・関係団体へのアンケートを実施。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		報償費	委員等謝礼							210		
旅費		委員等交通費							157			
需用費		資料購入							6			
役務費		郵送料							5			
使用料及び賃借料	高速料金							6				
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	0	1,509	845	0						
		②補正予算										
		③流充用額	0	△ 69								
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越											
		次年度繰越										
	財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	0	0	503	0	0					
		国支出金	0	0								
		府支出金	0	0								
		地方債	0	0								
		その他特財	0	1,440	342							
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと創生事業基金		種類	基金繰入金		実績金額	342	決算付属資料	36	頁
		特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0/0	0.5 / 0	0.3 / 0							
⑤概算人件費		0	4,000	2,400								
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		0	5,440	3,245								
⑦執行額		0	1,168	383								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		0.0%	81.1%	45.3%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		計画策定		/	/	1/1	/	1
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		意見聴取会議開催回数	回	/	1/2	9/3	/	5
		単位あたりコスト		0.0	1168.0	42.0		
単位あたりコスト								

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市のスポーツ振興やスポーツ施設のあり方の方向性を定める計画であり、優先度は高い
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	計画策定にかかるコストは市民意識調査の実施に伴うコンサル委託料が主であり、必要最小限のコストとした。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	スポーツの振興と施設のあり方などもの方向性を定める重要な計画である
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		市民意識調査、市民有識者を交えた意見聴取会等の開催により、各方面からの意見も反映し策定した。	
今後の課題及び方向性		今後は、計画に基づき、本市のスポーツを振興していく。 計画策定以降の達成状況の検証や、計画に基づいた施設のあり方の検討のための体制や取組みが必要である。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針 予算への反映 【財政担当課記入】	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 平成30年度廃止/休止済み事業のため初見なし
	予算額の反映状況(対R1) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	SEA TO SUMMIT事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	会計	一般会計	事業コード	650147	決算付属資料	252	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	平成27年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都府提案事業として、カヌー・自転車・山登りによる、海から山への移動手段そのものを楽しむ環境イベントを民間主導の運営で開催し、中丹地域圏の周遊観光の促進を図ることを目的とする。									
	対象者	参加者	対象者数	113	単位あたりコスト	11.3					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金)									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	京都府・福知山市・舞鶴市・綾部市の4者が負担金を抛出し事業を実施する。 各市の特色を活かし、カヤック、バイク、ハイクを実施 舞鶴(カヤック)⇒大江山グリーンロッジ(自転車)⇒大江山山頂(ハイク)の実施を9月29日～30日にかけて予定していたが、台風の接近により中止となった。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	需用費	参加者への記念品購入							14		
	負担金補助及び交付金	由良川大江山SEA TO SUMMIT 実行委員会平成30年度負担金							557		
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	740	783	783							
		②補正予算										
		③流充用額	0	△4	10							
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
		前年度繰越										
		次年度繰越										
	財源内訳(①③④内訳)	一般財源	370	388	508	0	0					
		国支出金	370	391	285							
		府支出金	0	0								
		地方債	0	0								
		その他特財	0	0								
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進事業交付金	種類	国庫支出金	実績金額	285	決算付属資料	20	頁		
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.11/0	0.08 / 0	0.06 / 0	0 / 0						
⑤概算人件費		880	640	480	0							
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		1,620	1,419	1,273	0							
⑦執行額		740	762	570								
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		100.0%	97.8%	71.9%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		参加者数	人	146/150	113/180	0/180	/	180
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		開催回数	回	1/1	1/1	0/1	/	1
		単位あたりコスト		740.0	762.0	0.0		
		単位あたりコスト						

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	広域的な事業であり中丹各市の連携による実施が必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	参加者の参加料(10,000円)により運営されている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	参加者には好評であるが、本市に与える経済効果等の分析が必要である。広域観光や中丹地域の認知度向上に有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		中丹各市における経済効果などの数値が不明であり、その効果の検証が必要である。	
今後の課題及び方向性		平成30年度をもって、事業終了	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	体育施設維持管理事業												
	会計情報	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費	会計	一般会計	事業コード	650323	決算付属資料	252・254	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	平成16年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	公共施設マネジメント												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	体育施設の適切な維持管理により、市民ニーズに即した安心・安全なスポーツ環境を提供する。											
	対象者	全市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.7							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
	委託先・実施主体等	(一財)福知山市体育協会											
	事業概要	所管施設の管理運営と施設修繕を実施する。											
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容								H30経費		
		需用費	体育施設水道代、電気代、消耗品代、修繕料等								3,430		
		役務費	体育施設電話代、共済保険料、河川敷運動広場仮設物撤去								584		
		委託料	市民体育館他・温水プール指定管理料、施設維持管理業務委託料								41,967		
		使用料及び賃借料	市民運動場(野球場)敷地賃借料								1,750		
備品購入費、公課費		市民運動場(野球場)エアコン等購入(7月豪雨災害復旧)								810			
関連事業	体育施設設備整備事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当 予算	①当初	50,456	52,210	48,616	48,921				
	②補正予算								
	③流充用額	0	2,162	702					
	④繰越額計	0	0	0	0				
前年度繰越									
	次年度繰越								
予算と執行の 状況 (財源内訳①③④内訳)	一般財源	46,710	48,845	46,526	45,051	0			
	国支出金	0	0						
	府支出金	0	0						
	地方債	0	0						
	その他特財	3,746	5,527	2,792	3,870				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	運動施設等使用料	種類	使用料及び手数料	実績金額	1,605	決算付属資料	10・12
	特財名称	自動販売機設置賃付収入	種類	財産収入	実績金額	864	決算付属資料	30	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.25/0	0.5 / 0	0.45 /	0.45 / 0				
	⑤概算人件費	2,000	4,000	3,600	3,600				
	⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	52,456	58,372	52,918	52,521				
	⑦執行額	48,048	53,040	48,541					
	執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	95.2%	97.6%	98.4%	0.0%				

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		指定管理施設利用者数	人	180,000/200,000	192,831/200,000	170,185/200,000	/	200,000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	指定管理施設数	施設	3/3	3/3	3/3	/	3	3
	単位あたりコスト		16,016.0	17,680.0	16,180.0			
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	体育施設の適正かつ安心・安全な利用に向けて必要な事業であり、指定管理者制度の導入により民間事業者による運営が実施されている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指定管理者制度により、効果的な運営が実施されている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市民のスポーツ環境を把握するために施設利用者数を計上することは適当である。 また、利用者数も指定管理者により適正に把握されている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		多様化する市民スポーツニーズに即して管理運営がされており、利用件数・利用者数についても一定の成果があった。	
今後の課題及び方向性		「スポーツ推進計画」策定における施設のあり方検討に加え、今後の管理運営手法についても検討することが必要である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	スポーツ推進計画に基づき、効果的な施設の管理方法や再配置を検討するとともに、施設の施設の維持管理における必要最低限の費用を計上し、引き続き施設の運営経費として支出する。 【H30棚卸による見直し状況】 次回の指定管理選定に向け、効果的な施設の管理運営を図るため、指定管理の在り方や選定方法などについて、庁内関係部署と検討中。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対R1) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 次年度方針は妥当。効果的な見直しを進められたい。

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(4次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	森田哲也												
	事業名	社会体育施設災害復旧事業												
	会計情報	款	災害復旧費	項	文教施設災害復旧費	目	保健体育災害復旧費	会計	一般会計	事業コード	650375	決算付属資料	260	頁
	施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	7月豪雨災害により被災したスポーツ施設を速やかに復旧し、利用者に供することを目的とする。												
	対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	・市民運動場……壁紙修繕、備品購入 ・市民体育館……施設修繕、復旧工事、備品購入 ・温水プール……施設復旧工事 ・河西グラウンド……グラウンド復旧工事 ほか												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費					
		需用費	施設修繕料						2,142					
役務費		廃棄物搬入手数料他						168						
工事請負費		施設復旧工事						2,646						
備品購入費		備品購入						533						
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当 予算	①当初			0	0					
		②補正予算			5,500						
		③流充用額									
		④繰越額計			0	0	0				
		前年度繰越									
		次年度繰越									
	財源 内訳 (①④内訳)	一般財源			400	0	0				
		国支出金									
		府支出金									
		地方債			5,100						
		その他特財									
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	文教施設災害復旧費		種類	市債	実績金額	5,100	決算付属資料	50	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/		0.15 / 0	0.15 / 0					
⑤概算人件費				1,200	1,200						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)				6,700	1,200						
⑦執行額				5,489							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)				99.8%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		災害復旧費のためなし。				—	/	—
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		災害復旧費のためなし。					/	—
		単位あたりコスト					/	
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	被災したスポーツ施設の復旧
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	被災後の迅速な対応により、必要最小限の復旧費で抑えることが出来た。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	利用者からの強い要請あり
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		施設管理者の的確な判断により、必要最小限の復旧工事や修繕及び備品の購入で完了できた。	
今後の課題及び方向性		災害復旧費のためなし。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 統合/組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充